

『質的研究と社会実装』 創刊のことば

発行：2024 年 3 月 15 日

立命館大学ものづくり質的研究センターは「ものづくり質的研究」という新しい学術領域の提唱と産官学同時人材育成の基盤形成を目的として 2019 年 8 月に設置されました。

一般に、ものづくりの現場では素材の開発や素材の精緻化からイノベーションを主導することが多いと思います。一方、本研究センターでは、人々の願いからイノベーションを主導することはできないか、と模索しています。そして、ものづくり企業の「もの」志向から「こと」志向へのシフトや、サプライ・プッシュ（Supply Push）からデマンド・プル（Demand Pull）への移行という社会ニーズを背景に、心理学、映像学、情報学、経営学の学融（trans-disciplinary；トランス・ディシプリナリ）な領域を形成することを目指しているのが本研究センターなのです。

また、本研究センターは日本において「質的研究」を冠したほぼ唯一の研究センターです。質的研究にも様々なアプローチがありますが、立命館大学で誕生して今や世界中で使用されている TEA（Trajectory Equifinality Approach；複線径路等至性アプローチ）こそ、本センターの独創性の源泉です。もちろん、1つの方法にこだわることなく、質的研究の豊かさをものづくり領域だけではなくひとづくり領域やまちづくり領域、さらには様々な学問領域に展開していくことも本研究センターが目指すところです。

本研究センター設立 5 年目を迎えた 2023 年度に、研究成果を広く世に問うための学術雑誌としてセンター紀要『質的研究と社会実装』を発刊できることは私たちにとって大きな喜びです。5 本の論文・報告・論考を寄せていただいた著者の皆さんの存在があってこそこの雑誌発刊だと思います。ありがとうございました。また、査読はセンター運営委員会を中心に志を同じくする方々にお願いすることができました。そして、センター紀要創刊という大きな仕事を成し遂げることができたのは立命館大学 OIC リサーチオフィスの皆さんの献身的な作業があったからこそです。記して感謝の意を表します。

2024 年 3 月 11 日

立命館大学ものづくり質的研究センターを代表して
センター長・サトウタツヤ

センター URL；<https://www.ritsumeai.ac.jp/research/mdz/>